



撮影 後藤秀幸さん (江尾 2)



10/3 (日) 秋晴れの下、町内会長会の分担場所である滝見橋両岸の草刈りを行い、気持ちの良い汗を流しました。コロナ第5波が少し落ち着きをみせる中、全体的には例年の参加人数を抑え、46名で下草刈りを実施しました。このまま収束し、従来の活動が再開できるよう願うばかりです。

神谷2丁目 町内会長 勝呂典生

編集・発行

須津地区まちづくり協議会

事務局：須津まちづくりセンター  
TEL: 034 CCC4

題字・絵=鷺坂 隆司さん (神谷2)

新東名高速道路 古木戸橋上の丘より 「駿河湾、秋の夕映え」



江川への土のう積み作業

7月3日（土）未明から雨の中、地域役員、水防団、消防団、私設消防、警察、建設業者等々多くの皆さまが対応してくれました。

## 救助



ゴムボートでの救助



他地域からの救援も



水位を見守る水防団

## 水が引くと



大変な泥のかき出し



- ・土のう袋を家の前に用意しておけばよかった
- ・土のう袋の配布をお願いしたい

- ・水が引いた後、消防ポンプ等で道路、自宅の清掃が助かった
- ・地域の方々の声掛けから元気をいただいた
- ・江尾地区の団体、役員の皆さん、毎回頑張っていただきありがとうございます

## 復旧に向けて



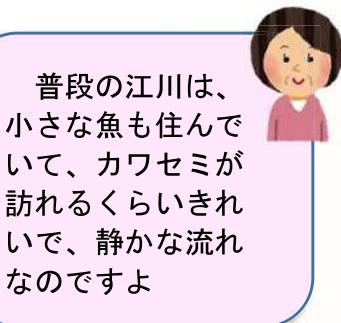
県や市の現地確認

7月4日（日）午前10時小長井市長をはじめ多数の関係者が、現地確認と被害者宅訪問、江川拡幅工事箇所の視察を行いました。

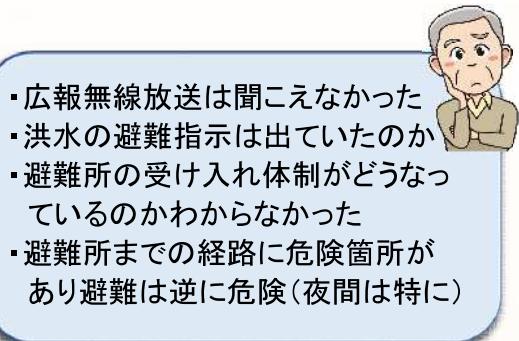
## 神谷区天ヶ沢でも

神谷区の天ヶ沢に面した神谷2丁目住宅地でも、流れてきた土砂、流木により川が氾濫し、道路は川に。近隣住民による夜通しの撤去作業により、住宅への浸水は免れました。暗渠部分で、流量オーバーとなった水が噴水状となり、アスファルトがめくれ鉄板の溝蓋が1枚流されました。

市に依頼して、暗渠部の補修と土砂の撤去をしてもらいました。



普段の江川は、小さな魚も住んでいて、カワセミが訪れるくらいきれいで、静かな流れなのですよ



- ・広報無線放送は聞こえなかった
- ・洪水の避難指示は出ていたのか
- ・避難所の受け入れ体制がどうなっているのかわからなかった
- ・避難所までの経路に危険箇所があり避難は逆に危険（夜間は特に）

## ボランティア活動に 参加して 藤吉美友（神谷緑）

私は、江尾地区の中で一番被害が大きかった場所で、泥かきのボランティアをしました。

現場に足を運んでみて初めて被害の大きさを目の当たりにし、胸が痛くなりました。ボランティアを通して改めて地域の連帯感やつながりの重要性を学びました。



長野県からもボランティアに



7月3日（土）午前4時



撤去した流木

# 知ってほしい!! 須津地区の大雨災害

梅雨前線による大雨で7月3日(土)午前2時から3時にかけて江尾江川が越水  
須津地区各所でも多数の被害が出ました **—H19年から15年間で4回の浸水被害—**

# 記錄的豪雨

西船津觀測所

## 江尾家屋浸水狀況

- ・連続雨量  
7/1(木)から7/3(土) 447mm(過去最大)
  - ・最大時間雨量  
7/3(土)午前9時 46mm/hr



江尾2丁目バス停付近



- ・浸水して通行できない生活道路に、根方街道や沼津線から車両が多数侵入していた。住民以外が入らないような規制が必要では
  - ・沼津線の通行止めが遅く、立ち往生する車がいた。もっと早い対応を
  - ・道路が通行止めになる前に通報されるシステムがあるとよい



江尾公園は池に 鴨が…



江尾駅付近



- ・大雨が降ると怖くて眠れない、早く安心して生活できるようにしてほしい
  - ・車の移転避難場所の指定があると助かる
  - ・河川が溢れないように護岸を高くできないか
  - ・江尾江川の早期の河川改良、更なる対策を

生活形態が変わり、隣近所のおつきあいも希薄になつてゐる今日です。この度の大雨で、近所の就寝中だった家に、黙つて車を避難させてもらい、難を逃れた方の話を聞きました。日頃のおつきあいの証です。いつ起るのかわからない災害に対し、常に備えは必要です。ご近所同士で挨拶等、声を掛け合うこともその一つです。日頃のコミュニケーションを大切にして、一人暮らしや高齢者家族を地域で見守つて行きましょう。

ご近所のおつきあいは、私たちの大きな助けになります。



江尾区  
増田直人

# 伝えたいこと

- 8月27日（金） 江尾江川流域水害軽減の対策を求める請願と陳情を議会に提出
  - 9月29日（水） 同要望書を富士市長に提出



#### ・10月20日(水) 排水ポンプ現地確認説明会

前回、江戸時代の須津地区は「隣の村は別の殿さま」だったとご紹介しましたが、江戸時代のはじめのころは、須津地区を含む駿河国（静岡県東部）はひとりの大名が治めていました。北条氏が豊臣秀頼により滅ぼされると、駿河を治めていた徳川家康は関東に転封され、秀吉の家臣・中村一氏が入部しました。関ヶ原合戦ののち、将軍職を譲った大御所家康の隠居領となったり、家康の十男・頼宣や三代将軍家光の弟・忠長の領地となりました。この忠長は行跡が悪く、たびたび兄・家光からいさめられましたが、なおることはなく、ついに改易となりました。この後、寛永〇〇年（一六三三）から須津地区を含む駿河国は「隣の村は別の殿さま」という状況がはじまります。次回から、須津地区の各村の殿さまたちのご紹介がはじまります。

## 須津のれきし探訪（シリーズ第14回）

### 須津と江戸 I 須津地区の『殿さま』② 江戸時代はじめのころ

杉本 寛郎（社会教育課 職員）

13号のクイズの答えは山形県でした  
多数のご応募ありがとうございました  
抽選の結果、小学生が当選しました

### 編集後記

今回、7月の江尾地区の水害について江尾区長・江尾1・2丁目の町内会長から話を聞く機会があった。話の中で多く語っていたのは「今は近隣住民同士のコミュニケーションが少ないのでないか」だった。コロナ禍で近隣の方と会う機会も少なく、以前は耳に入ってきた情報も入らない。また「個人情報」「プライバシー」と言われ、あえて聞かないようにしている。それでいいのか。まずできるとして、家の周りや町内を歩き、多くの方と顔を合わせ声を掛け合うことから、始めてみたらどうか。（suwa）

♪須マイル最新号はまちづくりセンターの階段にて  
カラー大型版で掲示しています。  
センターへお越しの際は、是非ご覧ください♪

## おうち自慢 ⑫ 寿町

町内会長 矢崎 嶽



江戸時代、富士地域には旗本の知行地が多く、中里地区は戸田氏2570石の領地で、陣屋が東亞厨房付近にあったと言われている。

我が寿町は福泉酒造の跡地で、約50年程の新興住宅地である。道路網や配管、側溝などが碁盤の目状に整備され、また幹線道路もないため、交通量も少なく静かである。神社や仏閣もないため、因習やしがらみ等に余り気にせず、住民は皆おおらかで、ゆったりと過ごし易い町ではないかと思っている。

インタビューに答える元気な3人



### ようこそ 須津川渓谷へ



8月21日（土）に須津川渓谷で、富士バンジーによる「ナイトバンジー」が開催されました。11人がライトアップされた大棚の滝に向かって、40mのダイブを楽しんでいました。

### ♡ママーズボイス♡ 5♡♡♡

### 須津の自然の中で遊ぶ 小松美晴（八幡）

江尾公園や浮島緑地公園など、須津地区には美しい紅葉や自然が楽しめる場所がたくさんあります。今年は自然の中で子どもと虫などを捕まえるのが、一番のお気に入りの遊びとなりました。

この夏はカニ、ザリガニ、カブトムシ、カタツムリなどいろいろ飼いすぎて、家に飼育ケースを置く場所がなくなるほどでした。アマガエルやトンボやセミなど、捕まえても飼育の仕方を調べて飼うのが難しいとわかると息子と話し合い、もといた場所へ放してくる等、生き物の生態にも詳しくなってきました。



秋はエンマコオロギやカネタタキ、アオマツムシなどが昆虫採集におすすめの虫だそうです。特にアオマツムシは桜の木の下にいるようなので捕獲に挑戦してみたいと思います。